

第19回 日本てんかん学会九州地方会 プログラム

日 時: 2024年7月13日(土) 12:30~17:30

方 式: ハイブリッド開催 (現地+WEB)

会 場: JR博多シティ会議室9階 会議室2

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1番1号 JR博多シティ9階 (博多駅直結)

会 長: 福岡市立こども病院 副院長 (兼)小児神経科 科長

【参加登録, 参加費支払い】

九州地方会 HP 上, オンラインで行ってください. 当日 16 時まで参加登録可能です.

[日本てんかん学会九州地方会 \(jesq.online\)](https://jesq.online)

当日会場での登録や支払い受付は行いません.

【発表者の方】

発表 7 分, 質疑応答 3 分.

配信等を行うアイティーシェルパ社から, 前日までにデータ確認等のお問い合わせがあります (jeskyushu-support@itsherpa.com からのメールが届くと思います).

【Web 参加の方】

参加登録された方にはアイティーシェルパ社から当日の入場について連絡がある予定です. 不明点あれば jeskyushu-support@itsherpa.com にお問い合わせください.

【現地参加の方】

参加登録をオンラインでお済ませのうえ, ご来場ください. 会場アクセスは上記地方会の HP にあります.

会場では発表時以外はマスク着用のご協力をお願いします.

【単位について】

当日の出席を事務局で確認できた場合に, 日本てんかん学会・日本精神神経学会・日本小児神経学会の単位取得が可能です. 手続きにつきましては, 後日メールでご連絡いたします.

御挨拶

第19回日本てんかん学会九州地方会を福岡市立こども病院が担当させていただくことになりました。九州地方会は通常WEB開催となっておりますが、今回は交通の便の良い会場ですので、ハイブリッド開催とします。

てんかんは、「てんかん発作を引き起こす持続性要因と、それによる神経生物学的、認知的、心理学的、社会的な帰結を特徴とする脳の障害」として定義される複雑な疾患です。幅広い年齢層に様々な症状として現れ、罹病期間も長きにわたるため、小児科、脳神経内科、脳神経外科、精神神経科の医師やメディカルスタッフが包括的に診療に関わっています。当九州地方会では年に1回、てんかん診療に携わるスタッフが集い、議論し、そして人脈を築く場となっております。

今回の特別講演1では、自治医科大学医学部放射線医学講座教授の森壘先生にてんかんの画像診断についてご講演いただきます。画像診断の知識は診療科を問わずてんかん診療に必須ですので、すべての会員の皆様のお役に立てるものと期待をしています。特別講演2では、国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科／臨床研究部長の福多真史先生にペランパネルの役割と、ROSAを用いたSEEGの有用性についてお話しいただきます。最新のシステムを用いた具体的な事例をお示しいただけるとと思います。

今回は多くの先生方が参加し議論しやすいようハイブリッド開催としています。WEB参加の方も質問や意見があれば手上げをして直接議論ができるようにしています。新型コロナウイルスの小流行がまだあるようです。福岡の会場では発表時以外のマスク着用にご協力いただきますようお願いいたします。

この会が、皆様のでんかん診療における研鑽と交流の場となれば幸いです。

第19回日本てんかん学会九州地方会

会長 吉良 龍太郎

福岡市立こども病院 副院長（兼）小児神経科 科長

第 19 回日本てんかん学会九州地方会プログラム

2024 年 7 月 13 日(土)

開会の辞 12:30～

一般演題 1 12:35～13:20

座長 チョン ピンフィー (九州大学病院 小児科)

1. Hyperventilation-induced high-amplitude rhythmic slowing with altered awareness (HIHARSAA) の 1 例
野田 麻里絵 (福岡歯科大学総合医学講座 小児科学分野)
2. 発作時に特徴的な stereotypies を示した前頭葉てんかんの一例
佐藤 和明 (国立病院機構長崎医療センター てんかんセンター)
3. 治療抵抗性のてんかん発作に対し半球離断術が著効した片側巨脳症の 1 歳男児
増田 景子 (九州大学病院 小児科)
4. てんかん性無呼吸に対してトピラマートが有効であった 1q43q44 微細欠失症候群の一例
平良 遼志 (福岡市立こども病院 小児神経科)

一般演題 2 13:25～14:10

座長 村上 信哉 (福岡市立こども病院 脳神経外科)

5. VNS を施行した新規発症難治性てんかん重積状態(C-NORSE) の 1 例
小川 由夏 (長崎大学病院 脳神経外科)
6. Bottom of sulcus dysplasia に伴う難治性てんかんに対し頭蓋内電極留置を経て焦点切除術を行なった一幼児例
桑原 和久 (九州大学大学院医学研究院 脳神経外科)
7. 硬膜下血腫に関連するてんかん性発作の要因の検討
迎 伸孝 (飯塚病院 脳神経外科)
8. CBZ、VPA、LEV、TPM、nilvadipine、ツムラ小柴胡湯の Combination therapy の薬剂量調整中の焦点性部分患者で、VPA 濃度正常域内に関わらず高アンモニア血症が出現し、多剤併用時の VPA 代謝、尿素 cycle に影響を与える薬物誘導、阻害、個体差、高アンモニア症状に奏功したオルニチン製剤
藤村 貴美子 (薬物相互作用センター 向旬)

会員総会 14:15～14:25

特別講演 1 14:30～15:30

共催セミナー(ユーシービージャパン株式会社)

「てんかんの画像診断」

座長 吉良 龍太郎 先生 (福岡市立こども病院 副院長 小児神経科長)

演者 森 壘 先生 (自治医科大学医学部 放射線医学講座 教授) ※ リモート講演

一般演題 3: 15:35～16:20

座長 迎 伸孝 (飯塚病院 脳神経外科)

9. 1.5-Tesla MRI with ASL 1st, EEG 2nd による脳内出血後てんかんの病態診断
森岡 隆人 (蜂須賀病院 脳神経外科)
10. 一側の選択的扁桃体海馬切除で良好な発作コントロールが得られた両側内側側頭葉てんかんの一例
東 拓一郎 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科)
11. 中年女性に初発した GABABR 抗体陽性自己免疫性脳炎で、GABAB1R の発現を伴う甲状腺腫瘍が合併していた一例
西原 拓弥 (九州大学病院 脳神経内科)
12. てんかん診療ネットワーク(ひぼ CAN ぱすネット)導入の試み
本岡 大道 (久留米大学医学部 神経精神医学講座)

特別講演 2 16:30～17:30

共催セミナー(エーザイジャパン株式会社)

「ペランパネル経口剤および点滴静注剤の抗てんかん発作薬としての役割

～ロボット支援による SEEG の経験を含めて～」

座長 森岡 隆人 先生 (医療法人庄正会蜂須賀病院 理事長)

演者 福多 真史 先生 (国立病院機構西新潟中央病院 脳神経外科/臨床研究部長)

閉会の辞 17:30～